

横浜 貴子 様

2022/04/02

解析CD: 123456

栄養解析レポート

Orthomolecular Nutrition and Medicine
Nutrition Analysis Report

医療期間(デモ用)

東京都新宿区新宿2-1-12

Tel:03-5366-0208

Url:<https://www.mssco.jp/>

血液検査解析結果

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID : sp002

日付 : 2022/04/02

まとめ

総合評価C (注意)

一部の栄養状態に乱れが見受けられます。指摘された栄養素をサプリメントにて積極的に摂取することにより、今後起こりうる病気の予防や、栄養状態の乱れによる体調不良を改善することが可能です。

医師やカウンセラー、又は各自の栄養管理の基、3ヶ月後に再度血液検査を行う事をお勧め致します。
定期的に血液検査値や自覚症状の変化を解析することで、常にあなたにあった栄養素量を確認できます。

血液検査解析結果

…分子整合栄養医学の見地より注意度の **重度** **軽度** 領域にある項目
血液検査結果の矢印 …栄養学的基準値に比べ **↓↓** 低い、**↓** やや低い、**↑** やや高い、**↑↑** 高いを表しています。

注意度	項目	血液検査結果	解説
重度	Zn/Cu(計算)	0.75 ↓↓	亜鉛の重篤な欠乏を疑います。亜鉛は、皮膚・爪・髪の毛などに必須のミネラルです。
	グリコアルブミン	13 % ↓↓	血糖値の平均が低くなっています。糖分の摂取不足ではなく、血糖の調節が障害されています。
	フェリチン	19.8 ng/ml ↓↓	貯蔵鉄の不足です。疲労感・頭痛・抑うつ感など多くの症状の原因です。
軽度	血清アミラーゼ	100 IU/l ↑	膵臓への軽度の負担があります。糖やアルコールを控えることが大切です。
	血清銅	120 μ g/dl ↑	炎症の存在を疑います。他のデータと比較し、炎症の原因を評価します。
	網状赤血球数	13 ‰ ↑	赤血球の造血機能が軽度亢進しています。タンパク質やビタミンEの不足を疑います。
	AST (GOT)	16 IU/l ↓	ビタミンB群の不足です。蛋白質アミノ酸の円滑な代謝を障害します。

血液検査日:2022/04/02 解析項目数:81 (検査会社:LSI)

血液検査解析結果

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID : sp002

日付 : 2022/04/02

血液検査解析結果

…分子整合栄養医学の見地より注意度の **重度** **軽度** 領域にある項目
 血液検査結果の矢印 …栄養学的基準値に比べ **↓** 低い、**↓** やや低い、**↑** やや高い、**↑** 高いを表しています。

注意度	項目	血液検査結果	解説
軽度	ALT (GPT)	13 IU/l ↓	体内でのビタミンB6活性が低下していることを示します。
	乳酸脱水素酵素	164 IU/l ↓	乳酸の分解が阻害されるため、筋肉のこりや全身の疲れなどの症状が多くなります。
	コリンエステラーゼ	260 IU/l ↓	栄養不足により肝臓での蛋白合成が低下しています。
	尿素窒素	13.4 mg/dl ↓	たんぱく質アミノ酸の代謝障害です。たんぱく質やビタミンB群の補給が必須です。
	尿酸	3.6 mg/dl ↓	体内でのストレスへの抵抗力が低下しています。抗酸化アプローチが必要です。
	血清鉄	80 μg/dl ↓	血清鉄の減少は、鉄の不足だけでなく蛋白質の不足によっても起こる変化です。
	血清亜鉛	90 μg/dl ↓	亜鉛が不足しています。亜鉛は、多くの酵素活性や爪・皮膚などに重要なミネラルです。
	中性脂肪	48 mg/dl ↓	摂取カロリーの不足や血糖調節の異常を疑います。炭水化物の摂取状況を見直してください。
	グルコース	78 mg/dl ↓	空腹時の低血糖です。糖の摂取不足ではなく、血糖調節異常による変化です。

血液検査日 : 2022/04/02 解析項目数 : 81 (検査会社 : LSI)

あなたにとって大切な栄養素とは

栄養素	解説
1 鉄	赤血球の構成と酸素の運搬という機能がよく知られていますが、他に、骨・皮膚・粘膜の代謝、コラーゲンの生合成、免疫への影響、知能・情動への影響、消化管への影響、筋肉の収縮、エネルギー産生、薬物代謝、活性酸素除去など多くの代謝に関与します。不足すると多くの不定愁訴が現れます。
2 ビタミンB1	脳の発育や神経機能に密接な関係があります。また糖代謝を司り、疲労の回復に役立ちます。糖代謝及び分枝鎖アミノ酸代謝の補酵素で、特にピルビン酸脱水素酵素のひとつとして糖代謝に重要な役割を持ちます。核酸や脂質の合成、神経の機能維持にも関与しており、神経伝達物質の機能に関与しています。
3 ビタミンB6	タンパク質の分解や利用に重要な栄養素です。不足により多くの身体・精神症状が引き起こされます。アミノ基転移酵素、脱炭酸酵素、神経伝達物質合成酵素、脂質代謝に関する酵素の補酵素など、生体に重要な酵素の補酵素です。酵素以外に、遺伝子の発現の制御、免疫系の賦活作用、グリケーションの阻害などに関与します。
4 ビタミンC	水溶性の抗酸化剤として、過酸化物の除去に重要な役割を果たしています。また、水酸化酵素の補酵素として、コラーゲンやカルニチン、カテコラミンなどの合成、異物の代謝、抗ヒスタミン作用、メラニンの還元に関わります。必須のビタミンですが、ヒトは自ら作るできません。妊娠や授乳、喫煙やストレスなどによって必要量が大きく異なります。
5 α-リポ酸	チオ外酸とも呼ばれ、強力な抗酸化作用を持つ含硫ビタミン様物質です。エネルギー生成、アミノ酸代謝、核酸の合成などの代謝過程において重要な役割を果たします。生体の至るところで抗酸化力を発揮し、他の抗酸化物(ビタミンE、ビタミンC、CoQ10、グルタチオン)の再生も行います。

あなたにとって大切な栄養素とは

栄養素	解説
6 レチノール	ビタミンAの活性中心で、皮膚や粘膜、眼の状態を正常に保つために必要な栄養素です。ビタミンAは、レチノール、レチナール、レチノイン酸の化合物で、動物性食品中にはレチノールエステル、植物性食品には主にβ-カロチン、魚油中にはレチノールの形で含まれます。小腸粘膜面でエステルはレチノールに加水分解され、細胞内レチノール結合タンパクと結合して運搬されます。
7 β-カロチン	色鮮やかな緑黄色野菜に含まれるカロチノイドの一種で、ビタミンAの前駆体として有用です。体内で必要量だけビタミンAに換わりますが、変換されないβ-カロチンは強力な抗酸化力を持ち、がんや虚血性心疾患、加齢に伴う多様な疾患の防御因子として期待されています。
8 ペプチド	タンパク質は20種類のアミノ酸が10,000個以上繋がったものですが、それより少ない結合のものをペプチドと言います。タンパク質を摂取すると、胃で分泌されるペプシンによってアミノ酸同士の結合を切って小腸に送られますが、ペプチドは、結合の数が少ないため消化吸収に対する負担が少なく、より吸収しやすくなっています。
9 メチオニン	タンパク質合成を「開始」させるメッセージを送る開始アミノ酸として重要です。硫黄を含む含硫アミノ酸で、主に動物タンパクに含まれます。他に、ヒスタミンの血中濃度の低下・尿生産能力・薬物中毒の解毒・肝機能の改善に関与します。抗うつ剤として即効性が知られており、統合失調症の症状を改善するケースがあります。

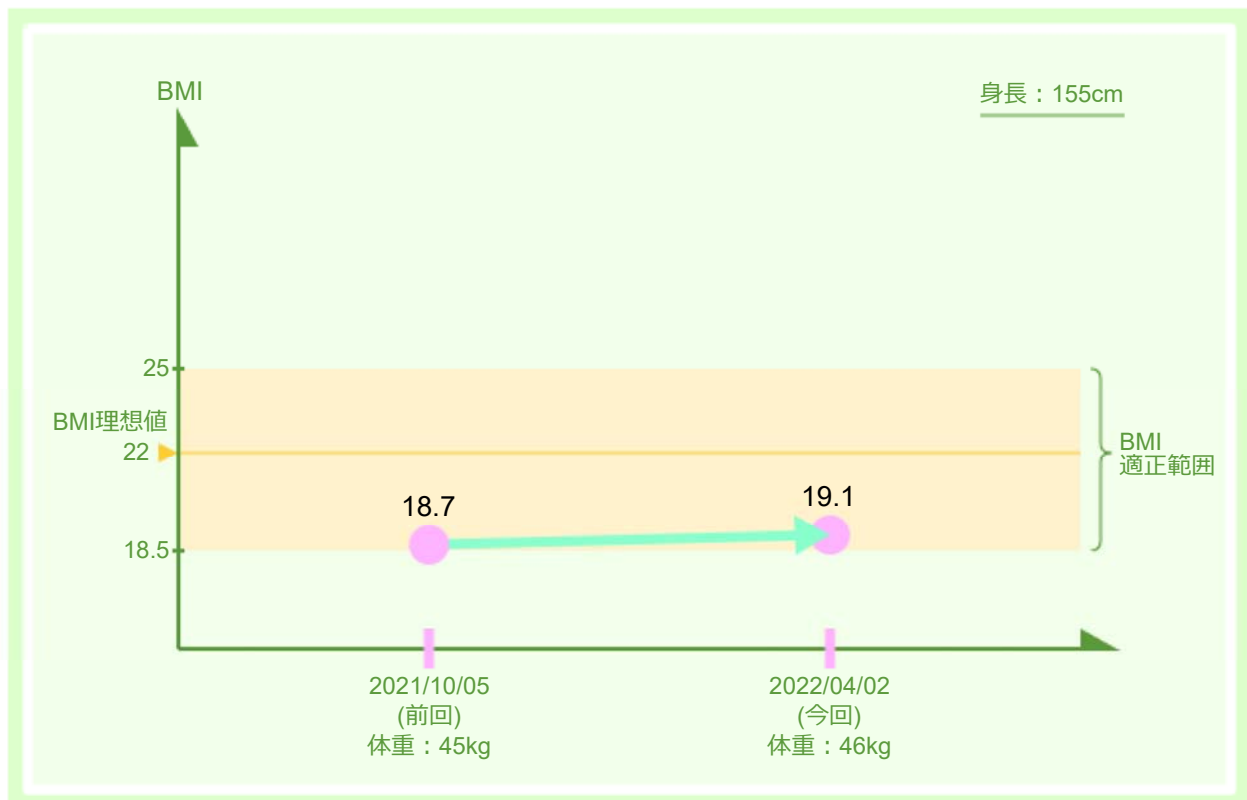
身体情報

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID：sp002

日付：2022/04/02

BMIを用いて判定した肥満度の推移



問診時に測定したあなたの身長・体重をもとに算出した、BMIの記録です。

BMIについて

Body Mass Indexの略で、「体重と身長バランス」と「病気のなりやすさ」の関係を統計的に分析してつられた健康指数です。

BMI値が22のときに最も病気になる確率が低く、それより小さくても大きくても病気の確率が高くなるとされています。

BMI値	判定	参考
18.5 未満	やせ	やせでは骨粗しょう症などになりやすいとされています。
18.5 ~ 25	普通	
25 以上	肥満	高血圧や糖尿病などの生活習慣病になる確率が高くなります。

日本肥満学会の判定基準に基づく

注) BMIは体内に含まれる脂肪の割合を判定している訳ではありません。適切なBMI値でも脂肪の割合の高い「かくれ肥満」の恐れもありますのでご注意ください。

自覚症状

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID：sp002

日付：2022/04/02

項目		問診日			
		(今回) 2022/04/02	(前回) 2021/10/05		
頭	立ちくらみ、めまいがある	いいえ	時々		
	頭痛、頭重(偏頭痛)がある	時々	ひどい		
口腔	口内炎ができる	いいえ	時々		
	のどの不快感がある	時々	時々		
腹	便秘する	時々	ひどい		
四肢	手足が冷える、しもやけになる	時々	ひどい		
皮膚	しっしんができる	時々	時々		
	爪が割れる、はがれる	いいえ	時々		
全身	疲れる・よく風邪をひく	時々	ひどい		
	体にアザができる	いいえ	時々		
	寒さに敏感だ クーラーは苦手である	時々	ひどい		
	顔や手足、眼瞼がむくむ	時々	時々		
心	つまらない事にくよくよしたり憂鬱・不安になる	時々	特にひどい		
	毎日の気分は？	ほぼ充実	平凡		
	イライラしたり、怒りっぽくなる	いいえ	時々		
	ストレスが多い	時々	時々		
	対人関係がうまくいかず、つらいと感じる	いいえ	時々		

血液検査結果 (1/3)

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID : sp002

日付 : 2022/04/02

.....分子整合栄養医学的見地より注意度の 重度 軽度 領域にある項目

検査項目	単位	検査日			
		(今回) 2022/04/02 LSI	(前回) 2021/10/05 LSI		
総蛋白*	g/dl	7.6	6.6		
A/G*		2.03	2.33		
蛋白分画:α1-グロブリン	%	0.21	2.8		
蛋白分画:α2-グロブリン	%	0.70	7.9		
蛋白分画:β-グロブリン	%	0.64	8.5		
蛋白分画:γ-グロブリン	%	0.97	10.8		
AST (GOT)*	IU/l	16	14		
ALT (GPT)*	IU/l	13	9		
乳酸脱水素酵素*	IU/l	164	160		
総ビリルビン*	mg/dl	1.0	1.0		
直接ビリルビン*	mg/dl	0.4	0.1		
間接ビリルビン*	mg/dl	0.6	0.9		
アルカリフォスファターゼ*	IU/l	174	153		
γ-GTP*	IU/l	18	15		
コリンエステラーゼ*	IU/l	260	234		
CK (CPK)*	IU/l	81	80		
血清アミラーゼ*	IU/l	100	126		
尿素窒素*	mg/dl	13.4	11		
クレアチニン*	mg/dl	0.65	0.64		
尿酸*	mg/dl	3.6	3.6		
ナトリウム	mEq/l	140	142		
クロール	mEq/l	102	103		
カリウム*	mEq/l	4.6	4.1		
カルシウム*	mg/dl	10.0	9.6		
無機リン*	mg/dl		3.0		
マグネシウム	mg/dl	2.5	2.0		
血清鉄*	μg/dl	80	117		
不飽和鉄結合能*	μg/dl	249	243		
総コレステロール*	mg/dl	206	171		
LDL-コレステロール(実測)*	mg/dl	110.4			

*-解析評価項目

数値の後ろの「L」は未満を、「E」は以下を、「U」は以上を表します。

血液検査結果 (2/3)

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID : sp002

日付 : 2022/04/02

.....分子整合栄養医学的見地より注意度の 重度 軽度 領域にある項目

検査項目	単位	検査日			
		(今回) 2022/04/02 LSI	(前回) 2021/10/05 LSI		
HDL-コレステロール*	mg/dl	86	67		
中性脂肪*	mg/dl	48	59		
遊離脂肪酸*	mEq/l	0.36	0.67		
グルコース*	mg/dl	78	87		
グリコアルブミン*	%	13	14		
CRP(定量)*	mg/dl	0.03	0.1		
白血球数*	/μl	6700	6100		
赤血球数*	万/μl	458	403		
ヘモグロビン*	g/dl	13.8	12.3		
ヘマトクリット*	%	42.8	38.0		
血小板数	万/μl	32.7	33.4		
MCV*	fl	93	94		
MCH	pg	30.1	30.5		
MCHC*	%	32.2	32.4		
網状赤血球数*	%o	13	10		
白血球像:好中球*	%	68.1	58.7		
白血球像:リンパ球*	%	26.5	34.4		
白血球像:単球	%	3.6	4.6		
白血球像:好酸球	%	1.2	2.0		
白血球像:好塩基球	%	0.6	0.3		
尿蛋白定性*		-	-		
尿糖定性*		-	-		
ウロビリノーゲン定性		+-	+-		
尿ビリルビン定性		-	-		
尿PH		5.5	5.5		
尿比重		1.009	1.013		
尿中ケトン体*		-	-		
尿潜血反応		-	-		
ペプシノーゲン1*	ng/ml	70.1	61.3		
ペプシノーゲン2*	ng/ml	10.1	10.2		

*-解析評価項目

数値の後ろの「L」は未満を、「E」は以下を、「U」は以上を表します。

血液検査結果 (3/3)

氏名：横浜 貴子 様(49歳・女性)

ID : sp002

日付 : 2022/04/02

.....分子整合栄養医学的見地より注意度の 重度 軽度 領域にある項目

検査項目	単位	検査日			
		(今回) 2022/04/02 LSI	(前回) 2021/10/05 LSI		
ペプシンノーゲン1/2比*		7.0	6.0		
血清銅*	μg/dl	120	105		
血清亜鉛*	μg/dl	90	98		
インスリン	μU/ml	2.5	2.4		
フェリチン*	ng/ml	19.8	6.6		
ヒロ菌抗体:判定*			-		
ヒロ菌抗体:濃度*	U/ml		3		
25-OHビタミンD*	ng/ml		21.5		
LDL(計算)*			92.2		
LDL実測/HDL*		1.28			
LDL計算/HDL*		1.28	1.37		
α1計算値	g/dl	0.01	0.18		
α2計算値	g/dl	0.05	0.52		
β計算値	g/dl	0.04	0.56		
γ計算値	g/dl	0.07	0.71		
Ret計算値*	万/μl	5.95	4.03		
好中球計算値	/μl	4562	3580		
リンパ球計算値	/μl	1775	2098		
単球計算値	/μl	241	280		
AI(計算)*		1.39	1.55		
好酸球計算値	/μl	80	122		
好塩基球計算値	/μl	40	18		
Zn/Cu(計算)*		0.75	0.93		
アルブミン*	g/dl	5.1	4.6		
耐糖能指数(計算)*		0.7	0.75		
TG/HDL*		0.55	0.88		

*-解析評価項目

数値の後ろの「L」は未満を、「E」は以下を、「U」は以上を表します。



Orthomolecular Nutrition and Medicine
Nutrition Analysis Report

医療期間(デモ用)

東京都新宿区新宿2-1-12

Tel:03-5366-0208

Url:<https://www.mssco.jp/>

監修:一般社団法人オースモレキュラー栄養医学研究所